

スタート研修会 アンケート結果

・令和6（2024）年5月11日（土）

・参加者

（会場） 小学校9・中学校7・高校12・支援学校1・大学1・新聞社及び関係者11
（計41名）

（オンライン） 小学校10・中学校7・高校6・大学院生1・他1

（計25名）

※アンケートは16名の方にご回答いただきました。

①講演

「川越女子高のNIE ～記事の向こう側へ～」
講師 佐藤弥生 先生

- ・講師の次々と進める話し方、どんどん、ぐいぐいくる、この勢い、熱、熱さ、パワフルさ、、、小学校の新聞研究会にも同じような先生がいたことを懐かしく思い出しました。最近、家事・育児のために、職場ではパワーをセーブしてしまっている自分を反省しました。やっぱり、パワフルにやっていかないと仕事、実践、人生、おもしろくならないよな！と感じた講演会。そして、他者が見えてくる、自分の興味関心が見えてくる、のキーワードも改めて、NIEを見直すきっかけになりました。
- ・卒業生ではございましたが、先生方が生徒のこれからの人生を見据えて、毎度たくさん試行錯誤されながら授業を作られているのだと分かり、教育には携わっておりませんが、私自身の大変励みになりました。
- ・上位層の学校だからできる事だなと思いました。NIEをやるだけで生徒の国語力が伸びるのは川越女子だからです。
- ・実際に取り組まれた新聞や手法を分かりやすく教えてくださって、大変勉強になりました。「今は、新聞の読み方を学校で教えないといけない」というご指摘にも、そこは気づかなかった視点でしたので、新鮮な驚きがありました。佐藤先生に学んだ生徒さんが、それぞれの進路で活躍なさっている姿を見せていただけたことにも感動しました。川越女子ということで、選ばれし才女さんたちが通う学校なのでしょうけど、それでも公立小学校でも積み重ねていくことの大切さが伝わってきました。
- ・表面的な学びに終始せず、長期的な視点から新聞学習の効果についてお話しされていたのに感銘を受けた。1時間のなかで新聞学習をやることの意義が凝縮された内容だったと思う。
- ・佐藤先生のエネルギッシュな講演、よかったです。中でも①NIEを広めるには「すぐに結果を求めず無理せず、できることからやりましょう」②NIEの根源にかかわる「国語

力をつけて、それを何に使うかが大事」、いずれも心に残りました。

- NIE について、私はほとんど実態を知りませんでしたが、実際の実践例を知ることができてよかったです。
- パワフルな先生に圧倒されました。生徒に対しての日常の何気ない指導に、やる気にさせる秘密があるのではないかと感じました。
- 考え学ぶ生徒さんの姿を見て感動しました
- 非常に参考に励みになりました。
- 高校での実践をお聴きできとても興味深くおもしろかったです。
- 新聞ノートを自分なりに考えて、実践できたらと刺激を受けました。
- 新聞を活用(読む)すると学力はのびる。しかし、そこで身につけた力を何に活かすかということが大切である。という言葉が印象にのこりました。ありがとうございました。

- 感銘を受けました。長年にわたり、実践なさったことをじかに、そばにいたかのように伺うことができ、日々の授業や子どもたちの接し方にも示唆をいただきました。
- 新聞ノート作りが生徒の進路を考える際の手立てになっていることが大変参考になりました。またインタビューする相手を選んで共有することの重要性を学びました。
- 所属校で実践を行う上で多くの実践のコツや経験をうかがうことができた。

②ワークショップ

「いっしょに読もう！新聞コンクールを体験しよう」

ファシリテーター 林 敏昭 先生

- とても楽しく学ぶことができました。実践してみようと思います。
- ペタっとSDGsが使いやすく、とても印象に残った。スタートアップにふさわしい時間だった。
- 交流することの大切さを実践して体験できたことは大きかったです。
- 生徒の目線に立って、ワークショップに取りくむことでコンテストに出品する際の難しさを感じられました。
- 生徒の目線にたって経験を深めることができた。
- 自分でやってみると、良くわかりました。
- 身をもって体験できたので良かったです。
- オンラインで参加させていただいたので、会場の様子はあまりわかりませんでしたが、やり方は理解できました。伝え合いから深い学びが生まれるのだろうと推察しました。
- SDGs 付箋を用いた取り組みが興味深かった。生徒と教員ともに取り組みやすい上、新聞や記事の内容に興味を持たせることができそうなので、ぜひ真似して取り入れてみたいと思った。

- ・林先生の実践に役立つファシリテート、よかったです。実際に「いっしょに読もう新聞コントロール」の感想を書いてみて、子供には大変なことに気づきました。
- ・SDGs と NIE を絡めた実践は、とても参考になりました。社会科の授業でもマイナーチェンジをして実践してみたいです。
- ・誰に聞か、これが難しい。そこをどうにかして広げさせることが出来たら、良くなると実感した。
- ・本校の実状に合った内容で、とても勉強になりました。ありがとうございます。

③その他

- ・貴重な体験をありがとうございました。
- ・佐藤先生の講演内にもありましたが、新聞教育、メディアリテラシーは子どもにも大人にも必要であり、生きる手がかりになると、改めて感じさせていただきました。教育機関のみに限らず、他分野の方、一般の皆さんにこのメディアリテラシーの考え方を知る機会が増えてほしいと思います。
- ・部外者にもかかわらず、参加させていただきありがとうございました。
- ・とても有益な会でした。教員同士の関わりよりも新聞社の方との関わりの時間を増やして欲しいです。
- ・対面とは学びの度合いが違うと思いますが、オンラインでもやってくださると、気軽に参加することができ、また休養もでき、無理がなくてありがたいです。一朝一夕には身につかないと思うので、このような講演会やワークショップを定期的に受講したいと感じました。ありがとうございました。
- ・講演、ワークショップともに適切な時間配分かつ充実した内容だったため、とても有意義な時間が過ごせた。今後も生徒と共に新聞学習を楽しんでやっていきたい。
- ・お二人とも体を動かすスタイルでよかったです。
- ・オンラインでの参加のため、実際に交流をすることはできませんでしたが、NIE 教育に対する関心は強くなりました。